

# 道博協ニュース

昭和48年3月1日  
創刊号  
発行所 大館哲夫  
編集者 丹野健  
発行所 北海道博物館協会

## 第12回全道博物館大会 稚内市で開催

北海道博物館大会も皆様方のご支援を得まして、回を重ねること十一回をかぞえ、大会内容もそれぞれ地域の特色を生かしながら北海道における博物館活動の当面の課題をとりあげ、大きな成果を得ているところであり、最近における社会の急激な変化は教育に対する人々の関心を高め、また、人々の学習要求も多様化する傾向を強めていることは、ご承知のこと、存じます。

わたしたちは、これら時代に即応した博物館のあり方、また活動をどのようにすべきか、申しあげざるまでもなく社会教育上重要な役割となっていることを深く認識し、

### 稚内市で開催

理解を深めるため次の要領案により第十二回北海道博物館大会を稚内市の格別のご好意により開催することにいたしました。

この機会に博物館関係者のご出席を願ひ、大会内容を一層有意義なものにしたいと考えております。

第十二回北海道博物館大会要領(案)

一、趣旨  
北海道内の各種博物館、園及び同相当施設に勤務する職員並びにその関係者が集い、地域社会の当面する関係課題を認識し、その解決方途について研究討議し、地域の教育文化の振興に寄与する。

二、主催  
秋本俊明  
尾関格司  
工藤勇二  
阿部 勲  
伊達市開拓記念館長

「役員紹介」  
会長 大館哲夫  
副会長 能島正一  
理事 中川 敏  
「札幌市山動物園長」  
「石川政治」  
「市立函館博物館長」  
「島村精一」  
「旭川市立青少年科学館長」  
「秋本俊明」  
「尾関格司」  
「工藤勇二」  
「阿部 勲」  
「伊達市開拓記念館長」

## 我が館の紹介

### 札幌円山動物園 一人気あるスノースレー

冬期間も開園するようになってからもう八年になる。その目的の一つとして市民の冬期生活の再開発であり、家の中にとじこもる生活より、外に出る生活、冬も克服し、積極的に利用して行く住みよい楽しい生活環境づくりであった。

夏場は自然林に、芝生に、そして遊園地に家族づれのいいこの場として、青少年の集いの場として利用されているが、冬になると閑散とした雪原に来園者も少なくなる。夏のように子ども達の歓声が冬も木立にこだまするようにならないものかと考え、オリンピック開催決定の冬よりスノースレーを始めた。

第一年目は長さ一五〇米のコースであったが変化がなく、又、スノースレーも市民スキー場より古スキーをゆずりうけ職員の手でソリを作ったのであるがあまり喜ばれなかった。

四六年の一月には場所を急斜面を利用し、コースに変化をだし金属ソリを用いたところ、スピードと変化があることは勿論のこと大

## 道博協ニュース発刊に際して

北海道内の博物館、郷土館、動物園その他の類似施設は、今や一五〇を超えるに至った。これは実にここ数年間のことで、いわゆる博物館ブームをなす状態になった。十数年前の函館、北大、釧路、網走などの数個の博物館しかなかった時に比較したら、驚異的な発展である。この傾向は敢て北海道に限らず、全国的なもので、喜ばしい次第である。

わが国のように歴史が古く、史的文化的豊富な国で、博物館が発達しなかったのは、不思議であったが、最近のこの傾向により、

- 北海道博物館協会
- 稚内市教育委員会
- 北海道教育委員会
- 日本博物館協会
- 昭和三十八年六月二十八日(休)
- から六月三十日(出)までの三日間。
- 稚内市役所会議室
- 日程

〈テーマ・北海道の自然と愛護〉			
時間	内容	講師	会場
9:30-10:00	開会式	大館哲夫	稚内市役所
10:00-10:30	北海道の自然と愛護	大館哲夫	稚内市役所
10:30-11:00	北海道の自然と愛護	大館哲夫	稚内市役所
11:00-11:30	北海道の自然と愛護	大館哲夫	稚内市役所
11:30-12:00	北海道の自然と愛護	大館哲夫	稚内市役所
12:00-12:30	北海道の自然と愛護	大館哲夫	稚内市役所
12:30-13:00	北海道の自然と愛護	大館哲夫	稚内市役所
13:00-13:30	北海道の自然と愛護	大館哲夫	稚内市役所
13:30-14:00	北海道の自然と愛護	大館哲夫	稚内市役所
14:00-14:30	北海道の自然と愛護	大館哲夫	稚内市役所
14:30-15:00	北海道の自然と愛護	大館哲夫	稚内市役所
15:00-15:30	北海道の自然と愛護	大館哲夫	稚内市役所
15:30-16:00	北海道の自然と愛護	大館哲夫	稚内市役所
16:00-16:30	北海道の自然と愛護	大館哲夫	稚内市役所
16:30-17:00	北海道の自然と愛護	大館哲夫	稚内市役所
17:00-17:30	北海道の自然と愛護	大館哲夫	稚内市役所
17:30-18:00	北海道の自然と愛護	大館哲夫	稚内市役所
18:00-18:30	北海道の自然と愛護	大館哲夫	稚内市役所
18:30-19:00	北海道の自然と愛護	大館哲夫	稚内市役所
19:00-19:30	北海道の自然と愛護	大館哲夫	稚内市役所
19:30-20:00	北海道の自然と愛護	大館哲夫	稚内市役所
20:00-20:30	北海道の自然と愛護	大館哲夫	稚内市役所
20:30-21:00	北海道の自然と愛護	大館哲夫	稚内市役所
21:00-21:30	北海道の自然と愛護	大館哲夫	稚内市役所
21:30-22:00	北海道の自然と愛護	大館哲夫	稚内市役所
22:00-22:30	北海道の自然と愛護	大館哲夫	稚内市役所
22:30-23:00	北海道の自然と愛護	大館哲夫	稚内市役所
23:00-23:30	北海道の自然と愛護	大館哲夫	稚内市役所
23:30-24:00	北海道の自然と愛護	大館哲夫	稚内市役所

七、講演  
「北海道の自然保護と今後」  
講師は、北海道開拓記念館館長大館哲夫先生が講演いたします。

八、分科会  
分科会は、次のように計画しています。

## 公立博物館建設の 国庫補助額決まる

公立博物館の建設費補助については、四八年度に総額二億四千万円が決定、これは一館当たり二千五百万円人にも人気が出てきた。

本州からの若い観光客は動物園を見ないで、時間一杯楽しめようとしている。帰る時に、「面白かった」「生まれて始めてソリにのった」と礼をいわれた。これが有名になり、ソリ制作メーカーからせひうちのソリを使って下さいと新型の

## 「博物館と展示」

ここ数年、私たちの身のまわりでは、情報化社会とか、地域文化の向上などいわれており、地域社会における思想なり、史観をもつことが要求されております。これらのなかで博物館を含めた社会教育施設は、常に地域の人が自らの国、自分の街を理解し、世界的な眼で見ることができるよう機能を持つていなければなら

ことは当然である。然しながら、これらの施設とい、直接間接に関連する行政機関とい、必ずしも完璧な状態にあるとはいえない。むしろ施設が先だち、組織や行政が追いつかない有様である。わが国は諸外国とはいろいろな点で異なる独自のものがある。諸外国の制度、運営は参考とはなるが、わが国独自の特徴あるものを作り出す必要がある。このような見地から、道内の関係諸施設間の紹介並に意見の交換に資するため、この博物館ニュースの発刊が計画されたのである。各位においては、この主旨を御理解下さり、今後の発展のため御協力を御願ひする次第である。

- 第一分科会  
「社会教育に於ける博物館、園の新しい役割」  
○社会教育の中に於ける博物館、園の位置づけ。  
○新しい時代に対応するためには……。  
○新しい時代に於ける役割とは……。
- 第二分科会  
「専門職員の専門性とは」  
一 学芸員の専門性  
○専門職員と博物館、園のかわり。  
○専門職員の現状分析  
○専門性とその確立  
○分科会の研究発表者  
○分科会研究発表希望者は、本年五月末日までに八〇〇字程度の原稿を添えて北海道博物館協会長あて申し込んで下さい。  
送付先は、  
札幌市白石区厚別町下野幌  
北海道開拓記念館内  
北海道博物館協会
- 十、参加申し込み方法について  
大会申込書により次の金額を添えて、本年六月五日までに大会事務局(稚内市役所内稚内市教育委員会社会教育課、第十二回北海道博物館大会事務局あて申し込んで下さい。
- 十一、視察見学について  
視察見学は、大会事務局で次のように計画されていますので参加して下さい。  
(一)利尻、礼文コース  
稚内市(船)東利尻町(船)利尻町  
(二)市内コース  
水雪の門(道北青年の家)資料室・南極室(水族館)稚内港ドーム(宗谷史蹟公園)間宮林蔵渡樺の地(日本最北端の地等が予定され、このほか稚内市の遺跡名所もコースに加えられています。

計しなければ、その展示は弱く、ややもすれば一部の研究者や好事家だけに喜ばれるにすぎないものになるかも知れません。

展示デザインというサイドより、望ましい展示をおすすめるため、シナリオの理解、各テーマの内容分析、資料に対する理解、目的意識の確認、展示における主従など、またその館の立地条件、地域の意見、特色、建築とのとりあいなどを考慮しながら、展示プランの作成をし、それらのプランに基づいて、展示デザインを決定するわけですが、このような数々のセレクトされた要素を組立て、さらに独創的なアイデアをプラスする行為であり、構想より実施まで最少限度2年の期間をかけるなければ、情報化社会といわれている今日にフィットした教育施設の展示はできないと思います。

参考までに昭和47年度に開拓記念館が協力した館名、開催地を列記しますと、浦河町郷土資料館、三笠市郷土資料室、十勝清水町酪農記念館、青函トンネル記念館、酪農記念館、戸井町郷土資料館、帯広市、室蘭市などです。

北海道開拓記念館展示課  
研究職員 亀谷 隆

宮田晴治氏 (釧路市立郷土博物館長) は去る一月二十七日心筋梗塞のため四九才で逝去されました。宮田館長は三代目館長として四四年に就任し、以来四四年間地方博物館として調査、収集、保存の他研究、普及の各面に、バランスのとれた博物館づくりをされ、特に専門職員の大巾増員を実現するなど功績は大きい。又新館建設の基本計画を立案され、四八年度から計画実行に入るときだっただけに、ご逝去が各方面から惜しまれて

# 北海道開拓記念館における くん蒸殺虫作業について

昨春、大型の展示ケースあるいは展示パネルのラワン材部分にヒラタキクイムシによる被害が発生し、また、収蔵庫内部の資料にもヒラタキクイムシのほか、博物館において普通その発生がみられるシバンムシ類、カツオブシムシ類、シミ類などの害虫が被害を与えているのが発見されたので、資料の保全上、館内の大規模なくん蒸殺虫作業を実施した。

一、害虫類による資料の被害

記念館においては、一部の資料は搬入前メチルプロマイドによる屋外くん蒸、木製資料についてはクロルデン剤あるいはPCP-Na剤による処理、展示ケース、資料収納箱へのパラシクロペンゾールの押入などを行い、害虫発生を予防してきた。しかし、それらの処理が十分でなかったこと、さらに館内が常時空調調節され害虫の生育に適する環境にあったことも原因となり、害虫発生を防止することができなかつた。館資料のうち、搬入前にメチルプロマイドによる屋外くん蒸を実施しなかつた資料に乾材害虫の発生が多くみられた。乾材害虫のうちシバンムシ類による被害が最も大きく、館内で採取した害虫類のうち個体数の最も多かった。

ヒラタキクイムシによる資料の被害は極めて少なく、木製の民族資料一点のみであった。カツオブシムシ類については、十分に観察してはいないが、多数の脱殻ある成虫を採取した。これらのほか、イガ類、シミ類など多数の個体採取した。

附表

項目	常設展示室	特別展示室	収蔵庫(第1)	収蔵庫(第2)	収蔵庫(第3)	収蔵庫(第4)	文庫収蔵庫	資料貯蔵室	資料作業室	資料工作室	計
内容	14,582	2,242	1,022	299	5,159	498	97	323	237	34,459	
重量	410	40	50	10	300	20	10	20	10	870	
打撃時の薬剤消費量(kg)	28.0	17.8	48.9	33.4	58.2	40.2	103.1	61.9	42.3	-	
打撃時間後の薬剤残留濃度(μg/l)	5.1	5.2	4.0	3.6	4.0	4.0	3.2	3.8	3.2	-	

### 二、くん蒸方法

## 協会会員紹介

### 「北海道博物館協会会員」 (団体会員)

札幌市山動物園、札幌ビール株式会社史料館、北大農学部附属博物館、北海道立美術館、市立函館博物館、五稜郭タワー史蹟館、尻岸内町郷土資料館、七飯郷土資料館、小樽市青少年科学技術館、小樽市博物館、市立小樽水族館、余市水産博物館、岩内町郷土館、旭川市立郷土博物館、旭川市青少年科学館、市立旭川天文台、旭山動物園、富良野市立郷土館、美深町郷土博物館、大雪山国立公園層雲峡博物館、大雪観光史料館、夕張市郷土資料館、稚内市青年の家郷土室、北見郷土博物館、オホーツク水族館、紋別市立郷土博物館、北海道家庭学校博物館、網走市立郷土博物館、斜里町しれとこ資料館、北大農学部若小牧地方演習林標本館、若小牧市郷土博物館、室蘭市青少年科学館、市立室蘭水族館、洞爺森林博物館、伊達市開拓記念館、浦河町郷土博物館、おびひろ動物園、畜産大学附属環境衛生研究所、阿寒和琴博物館、釧路市立郷土博物館、釧路市青少年科学館、根室市文化センター、北海道開拓記念館(以上四三会員)

▼新会員(四八年四月入会)  
ひがし大雪博物館、浦幌町郷土博物館、厚岸町郷土館、上の国町郷土館、有珠郷土館、白老民俗資料館、京極町郷土館、標茶町郷土館、当別町開拓郷土館、美瑛町公民館。  
(個人会員)  
山下章(江差町立江差郷土資料室)、犬飼哲夫(北海道開拓記念館)、古屋隆善(同)、舛田健(同)、畠山俊雄(同)

### 個人会員にどうぞ!!

協会は、協会独自の力を強め、新な発展を遂げています。協会は十年以上の歴史があるのに、個人会員は四十七年六月に江差町郷土資料室の山下学芸員が第一号で以下道開拓記念館の職員が若干名といったところ。  
是非個人会員に加入してください。

## 氷期の生き化石

### ナキウサギ

ナキウサギは、現在ユーラシア大陸から北米にかけて、その寒冷地帯に広く分布する動物で、一属十四種が知られている。日本には北海道にだけ、シベリア系の *Ochotona hyperborea yesoeensis* が生息している。北海道には、今から約一万五千年前の洪積世後期の氷期に、北海道がサハリンとともにアジア大陸の半島であった時代に、マンモスなどとともに大陸から渡来した。一万二千年前には永期も終り、宗谷海峡が成立し、北海道

## 自然保護 本道の珍鳥・珍獣

は孤島となり、気候も温暖となった。マンモスのような大動物は、狭小のために絶滅し、化石種となった。しかし、ナキウサギは平地の生活には順化できなかつたが、当時の環境に近い寒冷な高山帯に移動し現在でも生息しているのである。それ故に、氷河時代の生き化石とか、氷期の遺存種と云われるのである。穴居性で、耳は小さく、体はウサギの子のようである。尾は痕跡程度。前肢は五指、後肢は四趾で手足の裏面には短毛が密生している。毛は冬も白変しない。群居性で通常雌雄一対でなわばりを持ち、直行性で周

財団法人、日本穀物検定協会北海道支部  
(二期) 間  
危険防止の点から来館者の少ない12月1日から同10日までを実施期間とした。この間、5日〜7日まで打薬、くん蒸(48時間)にあて、その前後を準備作業、開放がスムーズ作業、整理作業にあてた。なお、12月5日から10日まで臨時休館とした。

(三)くん蒸薬剤  
メチルプロマイド  
(四)使用薬量  
室内容積、打薬量、打薬時の薬剤濃度、打薬48時間後の薬剤残留濃度は別表のとおりである。実施

## 博物館視察報告

道開拓記念館解説員  
坂下 知子

研修旅行、それは私たち解説員にとって、とても重要な意味をもっている。資料が生まれた実際の場所が立って、実物の資料に触れることができるということ。また開拓記念館が北海道の歴史において、いかなる役割をもち、位置を占めているかということを知ることもできるということである。今回の研修旅行により、私はわずかながら北海道の歴史に今まで知らなかつた幅と奥行を見つけることができたと感じる。

場所を館内9個所のブロックに分け、各ブロックごと、その出入口、窓、空調給排気口、さらに館全体の出入口、窓、空調給排気塔など外口部を密閉しガスの涌洩を防いだ。しかし、常設展示室、特別展示室、収蔵庫関係の空調給気口、各室の電気系統の開口部および排水口については建物構造上から完全には密閉することができなかった。くん蒸終了後のガスぬきには、出入口、窓など外口部の開放による自然排気と空調調和装置および排煙機による強制排気とを併用した。

活が倉の中に残されていた。江差の五月は江戸にもない。という言葉は今の江差においては空虚に響いていた。しかし横山家の資料には確かにそれを裏証するものがある。江差の郷土館は、町内の丘の上に建つ近代的な建物であった。鯨で築えた町の歴史が展示され、小さな資料室ではあつたけれどコーナー展示のため、ずいぶんくさんの貴重な資料が入っていたように思う。

今回のコースは函館を中心とした道南地域で、そこは和人の北海道における歴史の発祥の地であつた。鎌倉時代、蝦夷地に渡った人々は館の中でどのような生活をしていったのだろうか。十二館の一つ志苦館を訪れることができた。その館跡は海に面した丘の上であり、今は枯草が一面に覆っていた。そこにはどのような館が建てられていたか、近くから出たという多くの古銭は何を意味するものか、まだまだ未解の事柄が残されているが、その館を中心に様々な人間が往来した時代が確かにあつたのだ。そして幕末、榎本武揚等が共存の地を求めて蝦夷地に向つたことなどに何か共通する心意があるように思える。昔から蝦夷地には人々をさそい、包み込む何かがあつたようだ。

場所を館内9個所のブロックに分け、各ブロックごと、その出入口、窓、空調給排気口、さらに館全体の出入口、窓、空調給排気塔など外口部を密閉しガスの涌洩を防いだ。しかし、常設展示室、特別展示室、収蔵庫関係の空調給気口、各室の電気系統の開口部および排水口については建物構造上から完全には密閉することができなかった。くん蒸終了後のガスぬきには、出入口、窓など外口部の開放による自然排気と空調調和装置および排煙機による強制排気とを併用した。

江差もまた鯨の集積地として、はなやかな繁栄の跡を残す町である。そこにも盛時を偲ぶ網元や廻船問屋の跡が残されている。私たちが訪れた横山家もその一つである。京都、大阪と直結した文化の交流があつたことや、人々の豪華な生活

五稜郭には箱館戦争の資料が一括して残されていた。激しい戦いを今に伝える諸資料はやはり歴史の生々しさを教えてくれる。しかし函館はそのような歴史の傷を背負いながら、明治に入つてまた新しく息づく町となつていったよう

江差もまた鯨の集積地として、はなやかな繁栄の跡を残す町である。そこにも盛時を偲ぶ網元や廻船問屋の跡が残されている。私たちが訪れた横山家もその一つである。京都、大阪と直結した文化の交流があつたことや、人々の豪華な生活

江差もまた鯨の集積地として、はなやかな繁栄の跡を残す町である。そこにも盛時を偲ぶ網元や廻船問屋の跡が残されている。私たちが訪れた横山家もその一つである。京都、大阪と直結した文化の交流があつたことや、人々の豪華な生活

江差もまた鯨の集積地として、はなやかな繁栄の跡を残す町である。そこにも盛時を偲ぶ網元や廻船問屋の跡が残されている。私たちが訪れた横山家もその一つである。京都、大阪と直結した文化の交流があつたことや、人々の豪華な生活

## 協会の正会員を ふやそう

正会員数が四月一日に一挙に十会員ふえて五十三名になります。それでもまた道内には百前後の博物館等の施設があるので、全体ではありませぬ。協会で再三加入のおねがいをしていますが正会員各位にも近隣の博物館等の施設に加入のおすすめをおねがいします。

## 四十七年度の 入館者調べを

広く道内の博物館等から、四十七年度の入館者数のほか、展示の内容、入館料金、所在地と交通の便、館園長名、学芸員名、休館日などを調査して資料にまとめたものを、全道の博物館等に配布して、各施設相互の連けいを深めるのに役立てたいと計画しております。調査票が届きましたときは是非ご協力ををお願いします。(事務局から)

## 編集後記

企画力が乏しかった為全道広範囲に原稿を集めることが出来ず悔んでいます。道博協ニュースとしましたが新しい情報をどしどし送れるかどうか三日前の古新聞に頼らないよう頑張ります。館園の催し物や学芸員の先生が目下取り組んでいるものなど原稿を送ってください。企画もの自然保護と我が館の紹介は毎号つづけます。大所高所から博物館園のあり方をと考へて随想欄「想苑」を設けたら声もありそうです。今後にご期待を

- 「事務局組織の紹介」  
事務局長 古屋隆善  
(北海道開拓記念館副館長)
- 幹事 舛田健  
(北海道開拓記念館事業部長)
- 北川芳男  
(北海道開拓記念館学芸部長)
- 芸部長  
大石雅二  
(北海道開拓記念館特別学芸員)
- 松下 亘  
(北海道開拓記念館特別学芸員)
- 乙丸千代治  
(北海道開拓記念館企画課長)
- 矢野牧夫  
(北海道開拓記念館普及課長)
- 畠山俊雄  
(北海道開拓記念館主事)